

## 1. 日本再興戦略の書きぶり

(1) 目標: 農林水産業を成長産業にする

<主な KPI>

- ・今後 10 年間で、全農地面積の8割が、「担い手」によって利用され、産業界の努力も反映して担い手のコメの生産コストを現状全国平均比4割削減し、法人経営体数を5万法人とする
- ・2020 年に6次産業の市場規模を 10 兆円(現状1兆円)とする
- ・2020 年に農林水産物・食品の輸出額を1兆円(現状約 4,500 億円)とする
- ・今後 10 年間で6次産業化を進める中で、農業・農村全体の所得を倍増させる戦略を策定する 等

(2) 今後の議論の方向性(日本再興戦略抜粋)

農業については、担い手への農地集積・集約や、企業参入の拡大などに係る施策が盛り込まれているが、農業・農村全体の所得の倍増を達成するためには農業生産性を飛躍的に拡大する必要がある。そのためには、企業参入の加速化等による企業経営ノウハウの徹底した活用、農商工連携等による6次産業化、輸出拡大を通じた付加価値の向上、若者も参入しやすいよう「土日」、「給料」のある農業の実現などを追求し、大胆な構造改革に踏み込んでいく必要がある。

## 2. 検討項目(例)

(1) 農地中間管理機構の在り方

競争力を有する持続可能な経営体(企業を含む)のニーズに合致した農地集積・集約を進めるための手順のあり方、効率的な集積・マッチングを行う仕組みづくり 等

(2) 法人の参入を促すための方策

農業生産法人の出資要件や役員の実業従事要件の見直し、法人が活用しやすい農地制度・運用のあり方 等

(3) 経営所得安定対策(旧戸別所得補償制度)等の見直し

競争力強化・農地集約化・大規模化に資するための方策 等

(4) その他

6次産業化、生産コスト削減等に向けた農協や産業界の事業や流通の在り方 等

第1回 産業競争力会議・農業分科会

出席者

【農業分科会民間議員（50音順）】

秋山議員

佐藤議員

新浪議員（主査）

【有識者（50音順）】

宮城大学教授  
大泉 一貫氏

東京大学大学院農学生命科学研究科教授  
中嶋 康博氏

【規制改革会議】

岡 素之 議長

金丸 恭文 農業WG座長